

2013-B					
拠出金・基金の名称		アジア諸国における3Rの戦略的実施支援事業拠出金			
種別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】国際連合地域開発センター(UNCRD)					
【所管官庁担当局課・室名】環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 循環型社会推進室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】					
<p>アジア各国においては、3R国家戦略に基づいて、3Rや廃棄物管理の具体的な事業形成や政策立案を進める必要があるが、当該分野は、従来優先度が低いために実績に乏しく、また、これらの国では開発全般にわたって先進国の支援を必要としている。これまで我が国は3R国家戦略の策定を支援してきており、国連機関との連携を通じて、各国での戦略の実施を促進し、アジアでの循環型社会構築に貢献することを目的とする。</p> <p>アジア各国における3R関連の事業形成や政策立案を促進するため、各国間の政策対話の推進や多様な関係者間の協力等を通じてアジア太平洋地域の3Rを推進するプラットフォームである「アジア太平洋3R推進フォーラム」を開催するため、実施主体となる国連機関(国連地域開発センター(UNCRD))に対して拠出を行う。</p>					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成25年度	22,140	—	—	1ドル = 82円	100
平成24年度	21,870	—	—	1ドル = 81円	100
平成23年度	24,030	—	—	1ドル = 89円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
<p>我が国の支援等により、ベトナム、インドネシア等アジア数力国で3R国家戦略の策定が進んでいることを踏まえ、各国における3R関連の事業形成や政策立案を促進するため、政府機関、国際援助機関、民間セクター等が参加する「アジア太平洋3R推進フォーラム」を開催している。当フォーラムにおいてハノイ3R宣言が採択され、当宣言に基づく具体的な取組のフォローアップを通じて、3R推進の促進に直結した議論がされるよう協力していくこととしている。</p> <p>平成25年度においては、インドネシア・スラバヤで開催されたアジア太平洋3R推進フォーラム第5回会合にて、3Rの効果的な実行に向けた国家間協力、北南南協力、都市間・地方自治体間協力、産業間連携、政府・非政府間連携等の推進を表明し、且つ資源効率及びゼロ廃棄物社会への移行に向けたハノイ3R宣言の目的を補完するスラバヤ3R宣言を採択した。これはアジアを中心に世界における廃棄物管理に関する議論に貢献している。</p>					